

週報

令和 3 年 10 月 15 日

2021~2022年度 No. 5

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

プログラム

S A A 三村 剛孝君

☆ 点 鐘

☆ ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆ 四つのテスト斉唱

☆ 食 事 懇 談

☆ 会長の時間

☆ 幹 事 報 告

☆ 委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆ 部 内 卓 話

「福江島の台地とハマボウ(ジオパーク)」

清瀧 誠司君

☆ 点 鐘

現 在 会 員					前々回の欠席者 (10/8)					3 名			
本 日	出席	23名	欠席	6名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	1名	出席率	79.31%			
前々回	出席	27名	MU	0名	免除(a)MU	2名	免除(b)MU	1名	修正出席率	90.00%			
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
	本年度	76.21	休会	休会									
	前年度	83.33	87.63	79.27	76.75	80.65	80.27	全休会(0)	75.93	78.09	82.34	全休会(0)	80.48

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 山 下 克 己
副 会 長 吉 田 泰 之
幹 事 橋 本 武 敏
雑誌: 会報委員長 出 口 雅 昭

会長の時間

会長 山下 克己君

皆様、こんにちは。

10月半ばというのに、日中の暑さは依然として厳しいものがあるものの、朝夕の少し肌寒いような冷気は、身の引き締まるような心地よさを感じる季節となりました。心配の種であるコロナウイルスも、ここにきて沈静化の傾向にあるようです。

本日は、10月15日、10月度、第2例会、通算第5例会となります。

5回目の会長の時間を務めさせていただきます。

早速ですが、さる9月23日の塚崎 寛ガバナーの公式訪問の経過について報告いたします。コロナウイルスの感染拡大ということで、例会は休会予定となっておりましたが、何とかして開会できないものかとも検討いたしました。先方、ガバナーの強い要請もあり、そのまま休会と致しました。ただ、ご訪問のことは予定通りにされるとということで、私と橋本幹事、才津エレクトの3名で協議会ということで対応することと致しておりました。

午前9時5分着のジェットフォイルにて来島されましたので、とりあえずは出迎えに行きました。福江中央クラブが9時30分から、我が福江クラブは、11時からの予定をしておりましたので、一旦待機することとし、カンパーナ・ホテルにおいて待ち合わせを致しました。10時20分頃から、ロビーにて懇談し、予定通り11時から協議会を開始しました。

協議会の構成員は、

ガバナー	塚崎 寛（長崎中央RC）
地区幹事	岡田 康信（長崎中央RC）
ガバナー補佐	張本 民雄（福江RC）
会 長	山下 克己（福江RC）
幹 事	橋本 武敏（福江RC）
会長エレクト	才津 喜彦（福江RC）

以上の6名です。

内容としては、

周年事業の準備（創立58年）

女性会員を含めて、会員増強について

次期RI会長は、女性の予定。男女比率・世界平均23.7% 日本7%

最大時 79名が現在33名 原因究明は・？

戦略委員会のテーマについて

原因を求め、対策を追求

財団寄付について

一部は助成金として還ってくる可能性
コロナ下に於ける例会の在り方について
各委員会の活動方針

各委員会の目的を明確に

11月27日開催予定の地区大会について

出島メッセ

基調講演 隅 研吾氏

地区幹事から 地区委員について

「五島地区は離島ということで、交通の便の問題もあって、任命について遠慮しているところがある。ただ、これは勉強の機会でもあるので、自ら手を挙げるなど、何らかの対応が必要では」という趣旨のご指導がありました。

有難いことですが、事情はともかくも、平等の機会を与えてほしいという返事をしておきました。

以上のような、ご指導・ご指摘がありました。12時ごろ終了しましたが、昼食もせずに解散となりました。後は、張本ガバナー補佐にお世話いただきました。

お帰りは、16時30分発のジェットフォイルでお帰りになりましたので、見送りに行きました。1時間ほど早めに行きましたので、個別に再度ご指導いただいたところであります。

今後、皆さんと一緒に対応を協議して行きたいと考えています。宜しくご協力いただきますようお願いして、会長の時間を終わります。

ありがとうございます。

幹事報告

幹事 橋本 武敏君

『当クラブ関係』

1. 10月8日開催、第5回定例理事会報告

①出席免除者について…

釜崎 洋さんより出席義務規定免除申請があったため、次の通り承認いただきたい。

・クラブ定款 第12条第3節（a）項による出席免除対象者

釜崎 洋さん（令和3年8月6日～令和4年6月30日）

②新型コロナ感染症の影響による例会欠席者の扱いについて…

今般のコロナ禍において、やむを得ない理由（本人、または近親者が感染、または社内規定や本人の判断による感染対策のためなど）により例会を欠席し、かつ本人から口頭、または文書によって申し出があった場合、理事

会の承認をもって欠席を認めること（出席規定の免除）ができるものとし、その会員とその会員の欠席は、出席記録に含まない（欠席扱いにしない）ことが承認されました。

（根拠となる規定）クラブ定款第12条「出席」第3節「出席規定の免除」（a）および、クラブ定款第12条第5節「出席の記録」

- ③長期にわたる例会休会による会費の減免、または返還について…

長期にわたる例会休会中の会費納付の免除、減額、または返還についてご協議しましたが、現時点でその根拠となる規定が整備されていないなどの理由により、今回の理事会では結論を出さず、今後、会員の皆様へのアンケート実施などを経て再度協議することとなりました。

- ④例会へのWEBによる出席、および各種連絡等のペーパーレス化について…

例会へのテレビ会議システムの導入、および各種連絡等のペーパーレス化（電子化）を、戦略計画委員会により調査・研究、および計画立案することが承認されました。

なお、戦略計画委員会が計画立案した実施計画等については、理事会による計画の修正、見直し等を経た上で、クラブ協議会等で会員の皆様にその賛否を問うものとします。

2. その他

- ①2020－2021年度会費の未納の方は、出来るだけ早く納付して頂きますようお願いいたします。（該当者、およびその未納額については事務局より個別にご報告いたします）
- ②事務局職員の例会出席について報告いたします。
- ③本日例会終了後、IM準備実行委員会の会議を開催いたします。

『地区関係』

1. 2020－2021年度 IRのビデオ配布（メールボックス）
2. 各クラブより例会休会、変更のお知らせ
3. 「ロータリー日本100年史」頒布促進のお願い
4. 日本経済新聞社【10月22日（金）朝刊全国版】一面広告掲載についてお知らせ
5. ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース「ハイライトよねやま」
6. 公共イメージセミナーのご案内（関係者に配布）
7. ガバナー賞「超私の奉仕賞」（ご推薦のお願い）について

委員会報告

出席報告

- ◆10月15日（免除(a)欠席者）

中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君

- ◆10月15日（免除(b)欠席者）

北島 博志君

- ◆10月15日欠席者

谷川 久利君 松岡 孝博君 山里 一郎君
寺澤 信義君 森田 大輔君 有川 真史君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇清瀧 誠司君 今日は卓話よろしくお願ひします。
- ◇山下 克己君 清瀧誠司さん、卓話よろしくお願ひします。
- ◇吉田 泰之君 //
- ◇橋本 武敏君 //
- ◇中村 栄治君 //
- ◇戸田 博之君 //
- ◇張本 民雄君 //
- ◇山下 実君 //
- ◇中村 吉廣君 //
- ◇中村 陽二君 //
- ◇柳田 靖夫君 //
- ◇才津 喜彦君 //
- ◇平村 和弘君 //
- ◇片山 雅文君 //
- ◇小畑 和男君 //
- ◇神之浦文彦君 //
- ◇西上裕一郎君 //
- ◇宮本 光藏君 //
- ◇三村 剛孝君 //
- ◇出口 雅昭君 //

合計 20,000円

通算合計 142,000円

部 内 卓 話

「福江島の台地とハマボウ(ジオパーク)」

清瀧 誠司君



私は熊本県の出身で今から60年前になります。

学生時代に叔父が当時の福江市内で商いをしておりまして、夏休みには毎年遊びに来ておりました。海のきれいさは言うまでもなく、熊本の海にはない透き通ったエメラルドグリーンの色や教会がたたずむ入江の美しさは感動でした。然し、私には其の海より感動したのは、紺碧の空に鬼岳の山から見える崎山地域に広がる台地でした。地球の大地としては比較的に若いのでしょう。噴火した鬼岳や御岳の火山灰の鉄分が酸化して崎山の台地は赤く染まり、見渡す限りに広がり、その光景は私にとって日本の何処にも無い感動的な美しい光景でした。いつも見慣れている地元の人にはわからない、私だけの宝物と言える景色でもありました。



今でも、この写真の場所は私にとっては特別な景色であり、年に何度も訪ねて心を休めております。

さて、私のジオの一押しは「ハマボウ」の花です。「ハマボウ」と言う名のお花を知っていますか。「ハマボウ」は自然の中で、人の住まいに特別に縁の深い植物だと思っています。その花は、ハイビスカスの花にそっくりですが、ハマボウは色鮮やかな黄色の花が咲きます。南方系の植物で奄

美や鹿児島県、熊本県の一部や長崎県では対馬に自生しています。この植物は塩分に強い塩生植物で、河口の汽水域に根を張り群生し、花を咲かせます。奄美地方の「マングローブ」とそっくりの植生で、同じ汽水域に整殖します。福江島には、マングローブは自生しておりませんが、ハマボウの花は何故か集落の入り口に自生しております。現在までに私が見つけた「ハマボウ」は六方、奥浦、宮原、唐船ノ浦、半泊の5ヵ所です。

その全てのハマボウは集落の入口に生えております。但し、数千年前には今のような道路はありませんので、集落の入り口は海からの河口が入り口となります。さて、何故集落の入り口なのか？美しいハマボウの花を見ながら過去への旅に出てみましょう。



福江島では海の近くに山がそびえており比較的に低い山々です。平野は出来ませんでした。谷を流れる川の河口には「ハマボウ」の木が群生し、季節には綺麗な真っ黄色の花をきっと咲かせたでしょう。

この「ハマボウ」が咲く季節に海を渡ってきた人々は、船から満開のハマボウの花を見てきっとこの浜は飲料水もあり、飲み水には困らないし、汽水域には多くの魚介類が豊富で、食べ物にも困らないと判断して多くの人々が住み始め、集落となったと思っております。本来ならば、ハマボウの木付近には遠い昔の人々の遺跡があるはずですが、残念ながら、五島のハマボウの木々の群生は所謂海岸脇ですので、護岸工事で整備され、現在残っている全てのハマボウは運よく生き残った木であり、遺跡の痕跡もありません。

ジオは難しい事ではなく、生活と密着した事柄です。美しい五島には、まだまだ不思議な光景がいっぱいあります。大地の魅力は皆さんのすぐそばにあります。大いにジオを楽しんでください。